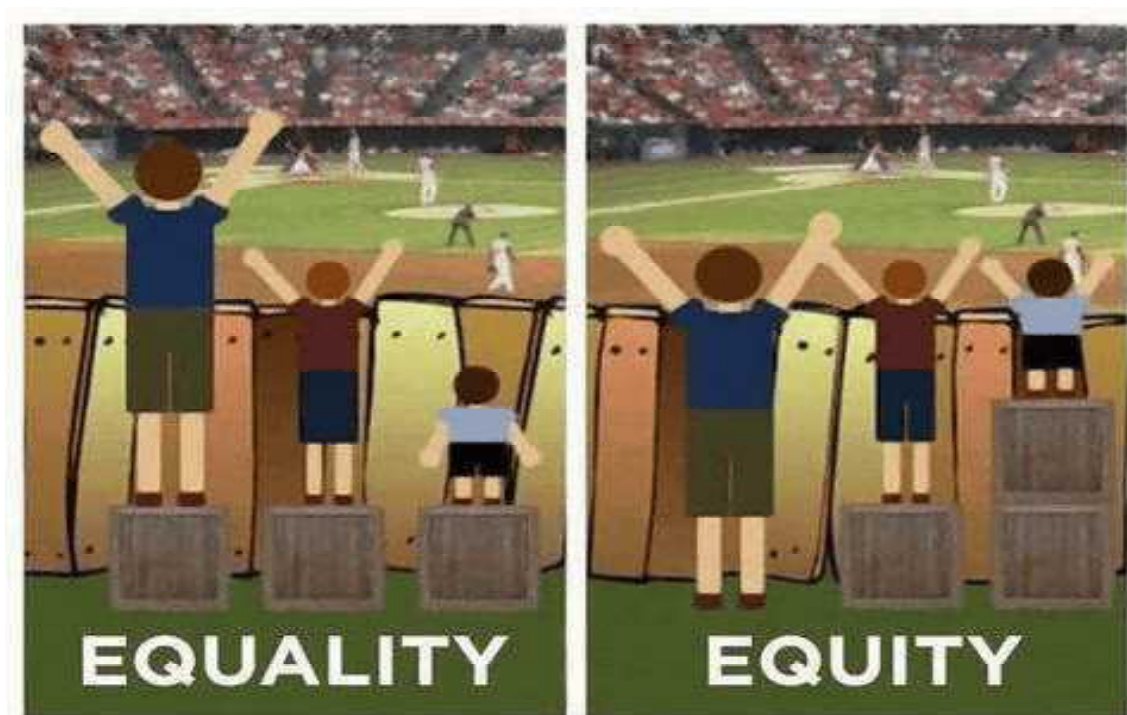


りんご室 便り ~relief & go room~

3月19日発行
南河内第二中学校 発行者 堀 美弥

卒業式も終わり、進級に向けての本格的な準備が始まりました。卒業式の準備の1、2年生の積極的に仕事をこなす姿を見てるととても頼もしく、来年度の二中が楽しみになってきました。今日は、新年度に向けての準備としてインクルーシブという考え方をお話をいたします。



この絵を見てください。左の絵が「EQUALITY」＝「平等・対等」、右の絵が「EQUITY」＝「公平・公正」です。

さて、皆さんはこの絵を見て、「平等であるべき」と考えますか？それとも「公平であるべき」と考えますか？

身長差、個人差、能力差があっても平等でなければならぬとすれば、左の絵のようになります。しかし、これは「見ることができない人」を無視していることとなります。一方、右の絵のようにその差を理解し、少しの手助けをすることで公平となり、みんなで同じ経験を分かち合えることができます。

右の絵を見て、「ずるい！」と思う人はいるのでしょうか？もし、「ずるい」と思うならば、言う人も「助けて欲しい」と思うところがあるのかもしれない。

『EQUITY』、まさにこの考え方がインクルーシブなのです。

クラスに、部活に、近くに、この少しの手助けを必要とする友達がいる、寛大な気持ちと優しさの手を差し伸べることで、みんなが仲間として共に過ごすことができたなら、素晴らしい学校になるに違いありません。そして、二中生はみんな、それができる生徒達だと思います。来年度、みんなで素晴らしい学校にしていきましょう。

